

第 65 号

平成 24 年 1 月 15 日 発行

編集・発行

(社)新潟県サッカー協会広報委員会



NiFA NEWS

謹賀新年

立ちあがれ 日本!!

一人ひとりの未来へ

新年にあたって



（財）日本サッカー協会
会長 小倉 純 二

新潟のサッカーファンのモチベーションも高まり、ミリーの皆さん、明けましておめでとうございませう。また、なでしこジャパンの戦い振りに、サッカーの原点を見たという方もいます。

日本サッカー協会（JFA）が創立90周年を迎えた昨年、日本サッカーはサムライブルー（日本代表）のアジアカップ優勝で始まり、U-17日本代表のワールドカップベスト8、そして、なでしこジャパン（日本女子代表）のFIFA女子ワールドカップ優勝と、世界舞台で大躍進しました。また、女子はオリンピック予選をはじめ、U-19とU-16の若きなでしこたちもアジアを制覇し、今年行われる世界大会への出場権を手にするなど目覚ましい成長を遂げています。

中でも特筆すべきは、なでしこジャパンの活躍でしょう。新潟の人たちにとってはアルビレックス新潟レディーズに所属する阪口夢穂選手の活躍を誇らしく思ったと思います。ファンはもちろん、選手、指導者の皆さん

もアジアを制覇し、今年行われる世界大会への出場権を手にするなど目覚ましい成長を遂げています。

中でも特筆すべきは、なでしこジャパンの活躍でしょう。新潟の人たちにとってはアルビレックス新潟レディーズに所属する阪口夢穂選手の活躍を誇らしく思ったと思います。ファンはもちろん、選手、指導者の皆さん

もアジアを制覇し、今年行われる世界大会への出場権を手にするなど目覚ましい成長を遂げています。

中でも特筆すべきは、なでしこジャパンの活躍でしょう。新潟の人たちにとってはアルビレックス新潟レディーズに所属する阪口夢穂選手の活躍を誇らしく思ったと思います。ファンはもちろん、選手、指導者の皆さん

もアジアを制覇し、今年行われる世界大会への出場権を手にするなど目覚ましい成長を遂げています。

中でも特筆すべきは、なでしこジャパンの活躍でしょう。新潟の人たちにとってはアルビレックス新潟レディーズに所属する阪口夢穂選手の活躍を誇らしく思ったと思います。ファンはもちろん、選手、指導者の皆さん

もアジアを制覇し、今年行われる世界大会への出場権を手にするなど目覚ましい成長を遂げています。

中でも特筆すべきは、なでしこジャパンの活躍でしょう。新潟の人たちにとってはアルビレックス新潟レディーズに所属する阪口夢穂選手の活躍を誇らしく思ったと思います。ファンはもちろん、選手、指導者の皆さん

もアジアを制覇し、今年行われる世界大会への出場権を手にするなど目覚ましい成長を遂げています。

最終予選もスタートします。今年もサッカーに注目が集まり、サッカー界としてサッカークラブからシニアまで



（社）新潟県サッカー協会
会長 澤村 哲 郎

皆様におかれましては良いお年をお迎えに申上げます。今年も宜しくお願

い申上げます。昨年、東日本大震災をはじめ全国各地、大きな被害に見舞われ、その悲しみは大きく今なお心を痛めている毎日です。一刻も早く復旧されることを願っています。

さて、今年は早いものでW杯開催10周年を迎えるとともに協会設立63年となります。協会として、協会の60年史発刊、また、関連記念事業を行うべく、特別委員会を発足し、検討を進めています。皆様はじめ多くの方々からご支援、ご理解をいただきながら成功裡に

進めていきたいと考えています。ご協力の程、宜しくお願

い申上げます。さて、昨年は6月に日本サッカー協会のご配慮により日本代表戦を開催させていただきました。東日本大震災で当県に避難されている子供さんからも被災地の皆さんと心を一つにし歩んでいきたいと思っ

ています。さて、今年も早

い申上げます。さて、昨

年は6月に日本代表戦を開催させていただきました。東日本大震災で当県に避難されている子供さんからも被災地の皆さんと心を一つにし歩んでいきたいと思っ

ています。さて、今年も早

い申上げます。さて、昨



はこの好機を逃すことなく普及活動を進め、スポーツ振興に力を注がなければと考える新潟のサッカーファ



両選手が勝利に大きく貢献し活躍してくれたことは県内の若い選手達に夢と希望を与えてくれました。まさに快挙であり両選手が更に大きく成長し活躍して

と、地域に根ざしたプロチームを目指し創られたアルビレックス新潟も今年でJリーグ加盟13年になりま

す。今や新潟県にとつてはなくてはならない存在であり県民に大きな感動を与え続けて

きて、地域に根ざしたプロチームを目指し創られたアルビレックス新潟も今年でJリーグ加盟13年になりま

す。今や新潟県にとつてはなくてはならない存在であり県民に大きな感動を与え続けて

きて、地域に根ざしたプロチームを目指し創られたアルビレックス新潟も今年でJリーグ加盟13年になりま

す。今や新潟県にとつてはなくてはならない存在であり県民に大きな感動を与え続けて

きて、地域に根ざしたプロチームを目指し創られたアルビレックス新潟も今年でJリーグ加盟13年になりま

す。今や新潟県にとつてはなくてはならない存在であり県民に大きな感動を与え続けて

きて、地域に根ざしたプロチームを目指し創られたアルビレックス新潟も今年でJリーグ加盟13年になりま

す。今や新潟県にとつてはなくてはならない存在であり県民に大きな感動を与え続けて

きて、地域に根ざしたプロチームを目指し創られたアルビレックス新潟も今年でJリーグ加盟13年になりま

す。今や新潟県にとつてはなくてはならない存在であり県民に大きな感動を与え続けて



株式会社アルビレックス新潟
代表取締役社長
田村 貢

明けましておめでとうございます。日頃より新潟県サッカー協会ならびに新潟県内サッカー関係者の皆様から、アルビレックス新潟に対して多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2011年は3月11日に発生した東日本大震災により、サッカー界にも大きな影響があった年でした。Jリーグは第2節から第6節を延期し、Jリーグは大会方式を変更。なでしこリーグも順延が決定し、なでしこリーグカップは開催中止を余儀なくされました。サッカー界は他競技に先がけて、いち早く被災地域への復興支援の姿勢を明確にしましたが、アルビレックス新潟も、街頭募金活動やクラブグッズなどの支援物資の提供などを早期かつ継続的に実施いたしました。

被災地の復興はいまだ道半ばです。今後も継続的な復興への啓蒙活動などに努めていく必要がありますが、ベガルタ仙台アカデミー組織の受け入れや岩手・高田高校へのユニフォームの提供など、今回の復興支援活動を

通じて、サッカーファンが見事に優勝。続くミリーの絆の強さ、温かさを再認識することができたのではないかと感じます。

アルビレックス新潟は再開後のJ1リーグでは年別代表選手の手負傷もあり、なかなかメンバーを固定し、日本中に「なでしこ旋風」を巻き起こす新潟レディース所属の阪口夢穂、上尾野辺めぐみも主力として栄冠に大きく貢献してくれました。クラブや新潟県の女子サッカーにとっても、大きな意味を持つものであったのではないかと感じます。また、アルビレックス新潟レディースは、女子日本一を決定する「全日本女子サッカー選手権大会」では、史上初めて元日の国立競技場でタイトルを競う栄誉に浴しました。惜しくも優勝はなりませんでしたが、新潟の女子サッカーの着実な成長を全国に印象付けることができたのではないかと考えております。

アルビレックス新潟は2012年も、クラブのコンセプトである「ひとつくまり」「まちづくり」「豊かなスポーツ文化の創造」に基づき、地域と密着し、

地域の皆様に愛されるクラブづくりにまい進したいと考えております。新潟県をはじめとする自治体の皆様、新潟県サッカー協会ならびに新潟県内サッカー関係者の皆様、株主・スポンサーの皆様、ボランティアの皆様、そして素晴らしい声援でチームをサポートいただいたサポーターの皆様のお力をお借りしながら、新潟のサッカーのさらなる発展・普及に貢献してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

●●スマイル&チャレンジ●●

当協会にご支援いただいている法人各社

TONY テレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報
東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会

2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

★私の夢★

小針レオレオサッカー少年団 唐橋 万結

私の夢は、なでしこジャパンの選手になって、ワールドカップとオリンピックで得点王になって優勝することです。

なでしこの宮間選手は、蹴る位置の角度と距離で左右を蹴り分けています。私も、コーナーキックやフリーキックをけることがあるので、左右の足どちらでも正確に蹴れる選手になりたいと思いました。私は左ききなので、右足のキックの練習にこだわって意識して右足を使っていきたいです。

これからは、なでしこが優勝したことでサポーターの期待もますます大きくなり、世界の女子サッカーのレベルも日本のレベルもどんどん上がっていくと思います。自分自身ももっと成長できるように一回一回の練習を大切に、夢が現実になるように頑張りたいと思います。

★僕の夢★

アルビレックス新潟ジュニア 三林 知広

「いつも、どんな時でもプラスの声をかける。」これが、ぼくがみんなから信用されるために、練習や試合で心がけていることです。

ぼくはゴールキーパーです。ぼくの夢は、オリバーカーンのような選手になって、スペインリーグでプレーをすることです。

オリバーカーンは、ゴール前で気迫があって、みんなに指示を出していました。どんなシュートでも止めて、鉄の壁と呼ばれていました。ベンチにいる時も、声を出しチームをはげまし続けました。

ぼくは、負けている時、ついマイナスの声がけをしてしまうことがあります。でも、これではチームのみんなをもっと固くしてしまうだけです。バーモントカップの全国大会で戦うためにも、プラスの声をかけてみんなから信用されるようにがんばります。そして少しでもオリバーカーンに近づきたいと思います。

★僕の夢★

アルビレックス新潟ジュニア 渡邊 泰基

僕の夢は、プロサッカー選手になり、いずれは海外のトップチームで活躍する選手になることです。この夢を叶えるためにはいろいろな努力が必要だと思っています。

その一つは、生活面の事です。僕は人にあいさつするのが得意ではありません。でも、サッカーはたくさんの人と出会うため、あいさつする事は絶対必要です。だから、だれにでもあいさつのできるプロサッカー選手になりたいです。

二つ目は、勉強もできるプロサッカー選手になることです。海外に行けば外国語を覚える事が必要になります。だから勉強は得意ではないけれど、がんばりたいと思います。

三つ目は、シュートの精度と顔を上げて周りをよくみながらプレーする技術を上げていく事です。練習では、この事を意識しながら取り組んでいます。

プロサッカー選手になるのは簡単なことではありませんが、たくさん努力して夢をかなえたいです。

ぼくの・わたしの

夢

★夢★

小針FCジュニアユース 唐橋 直哉

僕の夢は、高校選手権の全国大会に出場することです。今年のU-15クラブユースでは県大会で優勝することができましたが、北信越大会では四位という悔しい結果に終わってしまい全国の本大会に出場することができませんでした。だから高校では、全国大会を目指し練習していききたいです。

この三年間、つらいこともあったけど、チーム全員で力を合わせて乗り越えてきました。また僕達には、いつも応援してくれる人達がたくさんいました。保護者やOBの先輩達、また、一年生まで一緒にプレーしていた岩手に引越した仲間。いつも僕達を支えてくれる人達がたくさんいたので、僕達は力を発揮することができたと思います。これからも、支えてくれる人達への感謝の気持ちを忘れずに夢に向かって頑張っていきたいです。

★「夢」★

新潟市立内野中学校3年サッカー部主将 若杉 俊介

僕には「夢」が2つあります。

1つ目は、高校サッカーの全国大会に出場することです。僕は、昨年と今年、どちらも県大会を制し、北信越大会に出場しました。しかし、どちらも全国大会まであと1勝のところまで負けてしまいました。そのときの悔しい思いを絶対にしたくないので、高校サッカーでは絶対に全国大会に出場したいです。

2つ目は、プロのサッカー選手になって活躍することです。僕は小学生の頃からピックスワンでアルビレックス新潟の試合を応援していました。ピックスワンにはいつも4万人もの人が選手たちを応援しています。僕は4万人の観衆の中で、サッカーをしてみたいと強く感じたので、絶対にプロになって活躍したいです。そして、最終的には、プライドと国をかけて戦うワールドカップに出場したいです。そのため、今を大切に、努力を忘れず、大好きなサッカーをこれからも続けていきたいと考えています。

アルビレックス新潟レディース 全日本女子選手権 準優勝!!

国立 3000 人のサポーター沸く！ 2012 年 元旦



第33回
全日本女子サッカー選手権大会

全日本女子決勝リポート

日本女子サッカーが歴史的な偉業を達成し、日本中に巻き起こした「なでしこ旋風」のフィナーレとなり、同時に2012年の幕開けを告げる全日本女子サッカー選手権大会の決勝が、2012年1月1日(日)に東京・国立競技場で開催されました。決勝にはアルビレックス新潟レディースが駒を進め、なでしこリーグの覇者であるINAC神戸とタイトルを争いました。

奥山達之監督のもと、自らボールを動かしてゲームの主導権を握るサッカー“を志向して着実に成長を続けるアルビレックス新潟レディースは、2011シーズンのなでしこリーグは過去最高の5位でフィニッシュ。続いて開催されたこの全日本女子サッカー選手権大会では、3回戦で鳳凰高校を7-0と下し、続く準々決勝では浦和レッズレディースを川村のゴールで1-0の勝利。準決勝でも阪口、川村のゴールで2-1と倒して、決勝まで進出しました。浦和、日テレともなでしこリーグではこれまで一度も勝利を挙げたことがない強豪ではありましたが、複数の選手で素早いプレッシャーでボールを奪い、攻撃につながる形が機能。クラブの歴史に残る勝利を記録しながらの、決勝進出を果たしました。アルビレックス新潟レディースが元日に国立競技場でタイトルを争うのも史上初のこととなります。

女子日本一の座を争ったのは、2011年のなでしこリーグを優勝したINAC神戸レオネッサ。澤穂希、川澄奈穂美らFIFA女子ワールドカップ2011ドイツで優勝したなでしこジャパンの主力選手を多く擁するだけに、圧倒的な不利が予想された新潟レディースですが、試合が始まると準決勝までの戦いを女王相手にも臆することなく披露していきます。

中盤でダブルボランチを組む阪口夢穂選手(なでしこジャパン)、川村優理選手がことごとく相手の攻撃の起点をつぶして回り、攻撃の菅澤、上尾野辺にボールを供給する戦いで新潟はINACゴールに迫ろうとします。INACは川澄が抜け出すなど、時折り新潟ゴール前で決定的な場面を作りますが、この試合で引退が決まっている右サイドバックの口木やゴールキーパー

の大夫がよくこれをブロック。新潟のゲームプランである、「前半は相手の守備をシャットアウトして後半勝負」を遂行しようとして

しかし、新潟の上尾野辺が開いてDFと交錯して右まぶたを負傷。ピッチ外での治療を終えてピッチに戻ったわずかな隙を、INACは逃しません。セットプレーからゴール前での混戦を南山に押し込まれ、新潟は痛恨の失点を喫してしま

います。「守備に関しては問題ない。奪った後のボールの精度を追求しよう」という奥山監督の檄に送り出された新潟の選手たちは、後半盛り返そうとINACへの攻撃の姿勢を強めますが、逆にカウンターから2点を奪われ、0-3の敗戦。残念ながらタイトルを獲得することはなりません。

最後まで勝負をあきらめずINACゴールに迫り続けた新潟の選手たちには、試合終了後に国立競技場を埋めた満場の観衆から温かい拍手。また、晴れの舞台を支えようと新潟からは約2500人のサポーターが集結。選手とともに最後まで戦い続けました。



祝 アジア勢初の快挙

2012年1月10日、国際サッカー連盟は2011年の最優秀女子選手に澤穂希選手、最優秀女子監督に佐々木則夫監督、フェアプレー賞に日本サッカー協会を選出した。

日本サッカー史に輝かしい1ページを残した。



新春講演会・新年会開催される

恒例の新年会に先立ち新春講演会も開催され、参加人数も170名にのぼり盛会でした。

日時 平成24年1月15日(日) 13時15分～18時30分

場所 新潟グラウンドホテル

内容
1. 講演 「日本サッカー協会殿堂入りと思い出」 牛木 素吉郎氏

1. トークショー 「ドイツW杯優勝と期待される ロンドンオリンピック」 国際サッカー連盟最優秀監督 なでしこジャパン 佐々木 則夫監督

1. 講演 「JFA2005年宣言の推進」 (財)日本サッカー協会 副会長・専務 田嶋 幸三氏

1. 報告 「報告と来季の抱負」 アルビレックス新潟 監督 黒崎 久志氏

1. 新年会



アルビレックス新潟
監督 黒崎久志

明けましておめでとうございます。新潟県サッカー協会ならびに新潟県内のサッカー関係者の皆様におかれましては、旧年中は多大なるご支援・ご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。

はその後3連勝を飾りながらも、再び未勝利の時期が続くなど、シーズンを通して波のある、安定しない戦いをしていた反省があります。ただ、苦しいシーズ...



アルビレックス新潟レディース
監督 奥山達之

明けましておめでとうございます。優勝メンバ...

としてチーム一丸となり、臨むことができた。今までの勝ったこと...

★女子委員会だより★

【女子審判委員の活動】

審判担当 松浦波瑠夏

現在、積極的に審判活動を行っている女性審判員は、県内に3名おります。

【新潟地区の活動】

新潟地区担当 瀧澤 勝浩

サッカー登録種別には、1種・2種・3種・4種・女子と分かれておりますが、その中の「女子」には九つの区分「リーグ、一般、レ...

この冬は、個人のレベルを上げるために、1人1人が個人目標を立て、その個人目標を達成することをチームの目標としました。

【全国大会に出場して】

JAPANサッカーカレッジレディース

林本 早紀

12月4日に兵庫県で行われた全日本女子サッカー選手権一回戦で...

この冬は、個人のレベルを上げるために、1人1人が個人目標を立て、その個人目標を達成することをチームの目標としました。

この冬は、個人のレベルを上げるために、1人1人が個人目標を立て、その個人目標を達成することをチームの目標としました。

この中で、最近力をつけてきており最後の選手だけではないのです。この中で、最近力をつけてきており最後の選手だけではないのです。

大阪体育大学		Japanサッカーカレッジ	
GK 1 杉本 葵	DF 2 田中 由女	GK 1 深田 彩美	DF 2 品川 綾香
DF 3 倉本 あや	DF 4 加藤 みづほ	DF 5 薄 理香	DF 6 林本 早紀
DF 5 酒井 望	DF 12 松岡 沙由理	DF 9 佐々木 さくら	DF 10 高橋 友紀
DF 14 鶴岡 沙紀	MF 6 岡本 莉奈	DF 19 高橋 友紀	DF 20 坂口 南未
FW 13 清水 美里	FW 9 泊 志穂	FW 7 近藤 社	FW 16 社 納
FW 10 本田 紗希		FW 11 齋藤 麗	



女子サッカー部

各地区協会との懇談会開催される

平成23年度の各地区との懇談内が11月25日(金) 下越地区を皮切りに開催されました。

各地区との懇談会の開催目的は、各地区が積極的に事業活動を展開し、日常の事業を通して課題・対応策を双方で協議しより地域での活動を発展させることが地域・県レベルの技術向上、サッカーファミリーの増加等に大きな貢献ができると考えています。二月に入り上越・中越・新潟地区との懇談会を開催し、新年度へ向けて事業計画と実施具体策を協議します。

下越地区での協議内容を抜粋し報告いたします。

・ 下越地区：会長、副会長、理事長、種別委員長、事務局長他
県協会：会長、専務、事務局長

1. 県協会の現状

- (1) 協会60年史発刊とW杯10周年事業の取組
- (2) JFA交付金減額に伴う事業費の見直し
- (3) 楽しむサッカーの推進とスポーツ文化の構築
- (4) 事務局体制の強化

2. 県協会の課題

- (1) 楽しむサッカーの推進とスポーツ文化の構築
- (2) 地区協会の充実と連携強化(地区協会の発展なくして県協会の発展はない。規約に添った組織体制の推進)
- (3) キッズ・ジュニア・女子・シニア・ママさん・レディースの普及活動とチーム作り
- (4) 元気な中高年、元気なママさん、健全な子供
- (5) 広報活動の充実
- (6) 事業活動の重点的シフトと財源の確保
- (7) 日本代表戦と国際試合の開催促進
- (8) 全日本規模大会の誘致と招聘

3. 地区協会の現状と課題

- (1) 1種：社会人チームと登録数の減少が続いている。
- (2) イベントの創設、草サッカーチームへの登録呼びかけ、大会
- (3) チャレンジリーグの

- (1) 参加募集にあたり効果的なアナウンス方法を模索している。
- (2) 懇談会での意見・要望(抜粋)
- (3) 新発田市、聖籠町では、素晴らしいサッカー環境があるので、全国規模の大会の誘致を行政に働きかける。
- (4) 審判講習会(フットサル含む)を下越で実施したい。回数・時期も参加できる時期に設定して欲しい。
- (5) 3種は芝での試合ができない。施設充実はできないか?
- (6) フットボールデーの予算を上げて欲しい。またグッズの提供もあればお願いしたい。
- (7) 組織の充実と事業の拡大に努めたい。
- (8) 収入予算増の検討を行なう。
- (9) 要望事項については、各委員会、県協会でも検討してできるだけ改善していきたい。
- (10) 各地区・種別の皆様も参考にし、現状・課題を共有してくだ

地区協会の抱負

サッカー環境の充実

下越地区サッカー協会理事長 国枝 晴隆

平成17年度に下越強化に対してのご尽力北サッカー協会から心から感謝申し上げます。下越サッカー協会と 近年は、キッズから変更して、4年目を シニア、フットサルまで迎えました。組織も 様々な年代での活動の内容及事務所の体制も徐々に充実してきております。皆様 各委員会では活発な活動のサッカーの普及・ 動が行われています。

2012年を向えるにあたって

新潟地区サッカー協会理事長 五十嵐 治

新潟県のサッカー なつてきていると思いまレベルも、アルビレッツ 新潟市サッカー協会 クス新潟のJ1プロ のジュニア強化に新潟市は残念ながら、JFLに 体育協会も力を入れて レンジ決勝大会で負 いたいており、強化練 習会場・ナイターの使 用等の年間を通しての ジがJFLを目指し、 確保をしていただい 社会人北信越リーグ ります。

1部・2部共に新潟 新潟県サッカー協会 県チームが所属し、 のジュニアトレーニング 大学はインカレ全国 センターの下部組織と 大会に経営大学が出 しての役割りとしても、 場し、大学リーグ。 ジュニア強化に一段と力 高校プリンスリーグ。 を入れる事により、サ 各県リーグ等々、各 ツカレレベル向上にお手 種別・各カテゴリー 伝い出来るものと思っ 到新潟県チームが多 います。

今年の抱負

中越地区サッカー協会理事長 柏木 義雄

嬉しい報告です。 昨年12月3日に行わ れた第17回全日本ユ ース(U-15)フ ットサル北信越大会 において長岡ビルポ ードフットボールク ラブジュニアユース が準優勝・長岡JY FCが第3位となり 1月14・15日岐阜で 行われる全国大会に 北信越代表として2 チームが出場するこ とになりました。皆 様ご存じのとおりJ YFCはこの大会で 優勝・準優勝とすば らしい活躍をしてお き、情報交換・相互

新年の抱負

上越地区サッカー協会理事長 室橋 丈司

皆様、新年あけま しておめでとうござ います。本年もよろ しくお願ひします。 さて、今年はこの ような年になるので しょうか?不安と希 望を持ちながらも前 向きに頑張っていけ ればと思います。 今年四月に待望の 人工芝サッカー場が 柿崎区に完成しま す。上越地区では、 三番目の人工芝サッ カー場の誕生で地元 でも盛り上がりおこ っています。 上越地区では、ま だまだ充分とは言

昨年と本年のフットボ ールデーでは、親子ふ れあいサッカーが、親 子を含め200名近く の動員があり、次世代 につながる多くのこども達とふれあうことができています。これか らも、選手・審判・指 導者という登録者だけ でなく、愛好者や多く のサポーターを含めた サッカーファミリーへ、 サッカー環境を充実し ていくことに取り組ん でいきたいと思いま す。『FIFA2011年宣言』のもと、ア クシオンプランに基づ き着実に成果を収め ていくことを約束して、 あいさつと致します。

今年の抱負

中越地区サッカー協会理事長 柏木 義雄

嬉し報告です。 昨年12月3日に行わ れた第17回全日本ユ ース(U-15)フ ットサル北信越大会 において長岡ビルポ ードフットボールク ラブジュニアユース が準優勝・長岡JY FCが第3位となり 1月14・15日岐阜で 行われる全国大会に 北信越代表として2 チームが出場するこ とになりました。皆 様ご存じのとおりJ YFCはこの大会で 優勝・準優勝とすば らしい活躍をしてお き、情報交換・相互

新年の抱負

上越地区サッカー協会理事長 室橋 丈司

皆様、新年あけま しておめでとうござ います。本年もよろ しくお願ひします。 さて、今年はこの ような年になるので しょうか?不安と希 望を持ちながらも前 向きに頑張っていけ ればと思います。 今年四月に待望の 人工芝サッカー場が 柿崎区に完成しま す。上越地区では、 三番目の人工芝サッ カー場の誕生で地元 でも盛り上がりおこ っています。 上越地区では、ま だまだ充分とは言

の交流をしたいと思っ ています。 ようやく施設も各地 に来てきており、今 年度は個々のメンバ ー・チームのレベルア ヅプは勿論、指導者や 審判の育成にも積極的 に取り組んでいかなければなりません。又、 サッカーが男子も女子 も幼児から60・70才の方からも楽しんでた だく生涯スポーツとし て普及して行かなけれ ばならないと思っ ています。それが出来る のが地域の力ではない でしょうか。



終わりになりますが 昨年は、未曾有の大震 災のために東日本で大 変な損害があり、皆さ んも心を痛めたことと 思います。あらためて 震災に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。 ともに、本年は素晴し い年になることを心か ら祈念いたしまして新 年の抱負とさせていただきます。

第60回全日本大学サッカー選手権大会 結果

12月18日(日) 二回戦出場ならず
1回戦 新潟経営大学 2 (1-1) 2 鹿屋体育大学
PK 2-4

第90回全国高校サッカー選手権 結果

1回戦 新潟西高校 1 (0-0) 1 鹿児島城西高校
PK 4-2
2回戦 新潟西高校 0 (0-2) 4 済美高校

第17回全日本ユース(U-15)フットサル北信越大会 結果

予選リーグ Aグループ…長岡JYFC ALA 2位
予選リーグ Bグループ
長岡ビルボードフットボールクラブ・ジュニアユース 1位
FC五十嵐ジュニアユース A 3位
3位決定戦 長岡JYFC ALA 5-6 JFC須坂
決勝戦 長岡ビルボードフットボールクラブ・ジュニアユース 7-8 芦原中学校
準優勝 長岡ビルボードフットボールクラブ・ジュニアユース
第3位 長岡JYFC ALA

JA全農杯チビリンピック 結果

予選Bリーグ グランセナ新潟JU11 2位
予選Dリーグ アルビレックス新潟J 1位
決勝トーナメント
アルビレックス新潟J 1-0 ティエンズFC金沢U-12
アルビレックス新潟J 3-2 星稜JSC
優勝 アルビレックス新潟J

パーモントカップ 第21回全日本少年フットサル大会 結果

決勝トーナメント
1回戦 アルビレックス新潟ジュニア 4 (4-3) 5 ソレソン熊本
ヴィットーリア

東日本大震災義援金の御礼が来ました

社団法人新潟県サッカー協会 様

東北サッカー協会
会長 櫻岡 祐一



2011年3月11日、我が国は東日本大震災という、千年に一度ともいわれる大災害を経験しました。この災害により、東北各県において、たくさんの尊い命が失われるとともに、甚大な被害を受けましたが、大震災の発生直後、途方に暮れる私たち東北のサッカーファミリーに、いち早く支援の手を差し伸べてくれたのは、全国のサッカーファミリーの皆様でした。物心両面にわたる力強い支援に、私たちは励まされ、立ち上がる勇気をいただきました。サッカーの持つ、スポーツの持つ「絆」の力をあらためて感じました。心から御礼を申し上げます。

当協会では、所属チームの選手、指導者の尊い生命が奪われるという悲しみを乗り越え、この震災から多くのことを学び、そして、サッカーというスポーツを通じた地域社会のあり方を伝えていかなければならないと思っております。

現在では、震災の影響により、グラウンド確保が困難になったことやチーム運営などに支障をきたし、震災前の通常通りの活動までとはなりません、皆様のご厚意により、各大会や行事を実施しております。

この度お寄せいただきました義援金につきましては、貴団体のご意志にそって、東北サッカーの復興活動に有効に活用させていただきます。

今後も、1日でも早い復興を目指し、本来の活動とともに、地域の復興のために被災地支援活動を行ってまいりたいと思っておりますので、引き続きご高配を受け賜りますようお願い申し上げます。

“キリンチャレンジカップ国際試合 日本代表戦 新潟開催決まる”

財団法人日本サッカー協会は今年9月7日(金)東北電力ビッグスワンスタジアムで、キリンチャレンジカップ日本代表戦開催を決めた。昨年に引き続き開催されるとあって県民の喜びは大きい。特に今年はW杯開催10周年にあたりメモリアル事業としても期待が大きいものと思う。大会の成功に向けて万全を期したい。

期 日 2012年9月7日(金)
場 所 東北電力ビッグスワンスタジアム

審判委員会便り

審判委員長 加藤 芳彦

新年あけましておめでとうございます。派遣される審判員は2級・3級あわせて50人ほどで、彼(彼女)らのことを私たちが「アクティブレフェリー」と呼んでいます。近年、県内のチームのレベルが上がり、北信越のリーグ戦に参加するチームが増えてきました。これは各関係者の日ごろの成果とご尽力の賜物です。社団法人・大学・高校の昨年四月から十一月までに行われた北信越主管の新潟開催のリーグ戦の試合は一三〇試合ありました。これに北信越で持ち回りの選手権大会(高専大会や社会人大会・クラブユース選手権など)が加わり、委員からの審判派遣は前述の通り①以外にも②③がありま

省にもなりますし、その後の割当の資料にもなります。そうやって時間をかけて育成してきた成果が徐々に現れてきています。一例を申し上げます。北信越の五名中三名が新潟県の審判員です。また、その中から一級審判員候補は北信越二名のところ二名とも新潟県の審判員で昇級審査を受けました。他にも北信越の育成審判員として多くの名前を連ね、強化審判員のカテゴリーに入ることが一つの目標としてがんばっています。(次号へ続きます)

ワールドカップ10周年記念事業について
ワールドカップ開催から早いもので10年が経過しました。日本サッカー協会・アルビレックス新潟とタイアップする中で記念事業の検討をしています。

協会60年史発行について
当協会が設立してから今年で63年になります。60年史を発刊するとともに、併せて記念事業を考えています。

両事業とも決定次第、報告いたします。